次の文章を読んで、チューターの田中さんとチューティーの小川さんの会話Aと会話Bについてグループで話し合いましょう。傾聴や言い換えが使用されている箇所に注目し、気がついたことを指摘しましょう。

【会話A】

小川「宿題で出ている英文和訳の課題がさっぱりわからなくて…。」

田中「わからないとか、最初から決めつけないで、まずはやってみましょうよ。この英文は簡単ですよ。」

小川「私には難しすぎるんです。山中教授は受講生の学力を把握せずに課題を出しているんです。」

田中「山中教授の授業は分かりやすいという定評がありますよ。授業中、ちゃんと話を聴いていますか？」

小川「聴いていないですね。聴いていても分からないし、ついほかのことを考えていたりしています。」

田中「やっぱり！　それが原因です。今度から授業にもっと集中して取り組むように心がけましょう。取り組む姿勢が大事ですよ。」

小川「・・・。」

【会話B】

小川「宿題で出ている英文和訳の課題がさっぱりわからなくて…。」

田中「わからないんですね…。どういうふうにわからないんですか？」

小川「語彙集がついているから単語が分からないわけではないんです。でも、文の構造がどうなっているのか、全然見当がつかないんです。」

田中「どういう文の構造になっているのかが分からないんですね。」

小川「多くの学生が分かっていないのに、山中教授は受講生の学力を把握せずに課題を出しているんです。」

田中「山中教授は学生の学力を把握していないと思うのですね。」

小川「教科書にポイントが書いてあるから、それを読めば分かると思っているのだと思います。教科書をあらかじめよく読んで、ポイントを頭に入れておけば授業がもっとよく分かるようになるかもしれないんですけど、私、あまり予習できていないんですよね。」

田中「予習をすれば授業中がもっとよく分かるようになるかもしれないんですね。」

小川「山中教授の授業は分かりやすいという人も多いんです。でも私はそういう人たちと違ってもともと英語が苦手だから・・・。」

田中「英語は苦手だけれど、もっと予習をしっかりやれば、分かるようになるかもしれないと思っているのですね。」

小川「そうですね。苦手だからこそしっかり予習をしなければいけないのですが、できていないんです。」

田中「授業中にもっとよく理解できていれば課題も分かると思いますか？」

小川「課題は授業で習った文型を使ったものが出ているので、授業が分かっていれば難しくないと思います。授業にしっかり取り組んでいれば出来る課題だと思います。」

田中「授業にしっかり取り組んでいれば出来る課題なのですね。」

小川「私は英語が苦手だから、授業の内容をしっかり理解するためにはもっと予習に力をいれなければいけないですね・・・。」

|  |  |
| --- | --- |
| 会話例の中の問題箇所 | 気がついた点 |
| 【会話A】 | 【会話B】 |  |

問のルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **A** | **B** | **C** | **D** |
| **傾聴と言い換えについて十分に理解し、会話の中の使用例をすべて指摘することができる。また、これらを使ってチュータリングを行う方法が十分に分かっている** | **傾聴と言い換えについて理解し、会話例の中でそれを指摘することができる。また、これらを使ってチュータリングを行う方法が分かる** | **会話の中の傾聴と言い換えの例を指摘することができるが、理解が不十分な場合もある。これらを使ってチュータリングを行うことは難しい** | **会話の中の傾聴と言い換えの例を指摘することができず、十分に理解できていない。チュータリングにこれらを活用することは出来ない** |